

東南アジア諸国へのヒートポンプ給湯機の普及促進に向けた調査に関する 業務委託仕様書

1. 件名

東南アジア諸国へのヒートポンプ給湯機の普及促進に向けた調査

2. 事業目的

ヒートポンプ蓄熱センターでは、東南アジアでの地球温暖化防止に資するヒートポンプ給湯機普及を目的として、AHPNW（アジアヒートポンプ蓄熱技術ネットワーク）加盟団体と協力してアジア各国におけるヒートポンプ給湯機の普及へ向けた取り組みを進めている。

平成30年度より、センター内に「東南アジアHP給湯機・蓄熱システム普及員会（以下、普及委員会）」を設立し、ASEAN10か国に関するヒートポンプ給湯機関連比較や東南アジアへのヒートポンプ給湯機普及に向けた検討ロードマップ（案）等を作成し、検討を進めている。また、先行してベトナムにおいて現地関連省庁との意見交換やワークショップ開催等を行い、現地ニーズの把握に努めていることである。

令和元年度は、普及委員会で決定された方針に基づき、対象国をベトナム、タイ、インドネシアの3カ国として、主に民生業務部門を対象とした給湯需要ポテンシャルに関する基礎調査およびヒートポンプ給湯機のニーズ調査を、現地協力機関との関係構築を進めつつ、実施していく計画である。

3. 調査内容および実施方法

(1) ベトナム、タイ、インドネシアの給湯需要ポテンシャル調査

対象国における調査対象の給湯需要ポテンシャルの把握を行う。調査対象は主に民生業務部門とする。調査対象は基礎調査により選定する。なお、ベトナムに関しては、平成30年度の普及委員会での決定に基づき、調査対象をホテル、病院としたため、調査対象選定のための基礎調査は省略できる。

(2) ベトナム、タイ、インドネシアの、ヒートポンプ給湯機のニーズに関する調査

基礎調査により選定した調査対象において、ヒートポンプ給湯機のニーズ整理を行う。対象国により、調査方法は下記のように2段階で実施する。

1) ベトナム

対象国3カ国のうち、ベトナムの調査を先行して行う。本調査は、公表されている文書・論文・書籍等の分析を行うとともに、出張等による現地ヒアリングを通じて行う。調査結果は、普及委員会にて審議し、必要に応じて修正を行う。

2) タイ、インドネシア

調査はベトナムへの調査結果を踏まえて行う。本調査は、公表されている文書・論文・書籍等の分析を行うとともに、出張等による現地ヒアリングを通じて行う。本調査実施において、対象国での今後ヒートポンプ・蓄熱センターが普及展開に係る活動を継続していく上で、キーとなるカウンターパートの候補を選定する。

(3) 課題整理と提言

上記(1)から(2)の調査を踏まえて、対象国の政策的課題について整理するとともに、将来のヒートポンプ普及に向けた具体的な施策について取りまとめること。

(4) 調査報告書の作成

上記(1)から(3)の内容を踏まえて、調査報告書を作成すること。

(5) その他留意事項

上記(1)から(2)の調査手法や出張先等の詳細内容については、ヒートポンプ・蓄熱センター担当者と相談しながら検討していくこととする。

4. 実施期間

実施期間は、対象国により2段階とする。

(1) ベトナム

委託契約締結日～令和元年12月31日

*委託期間中に、調査について中間報告を求めることがある。

(2) タイ、インドネシア

委託契約締結日～令和2年3月31日

*ベトナムの調査結果により、成果報告書の提出が令和2年度となることも可能とする

5. 予算額

2,000万円未満

6. 成果報告書

調査報告書電子媒体(CD-R) 1式

7. 報告会等の開催

委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上